

平成18年度上半期報告 説明資料

平成18年11月27日
明治安田生命保険相互会社

1. 主要業績の概要

(1) 保有契約

	平成18年度上半期末		平成17年度末
		前年度末比	
年換算保険料(個人保険・個人年金保険)	18,036億円	△1.9%	18,384億円
うち第三分野	3,388億円	0.2%	3,381億円
保有契約件数(個人保険・個人年金保険)	11,286千件	△1.7%	11,478千件
保有契約高	2,517,426億円	△3.5%	2,609,152億円
個人保険・個人年金	1,402,448億円	△3.6%	1,454,514億円
団体保険	1,114,977億円	△3.4%	1,154,637億円

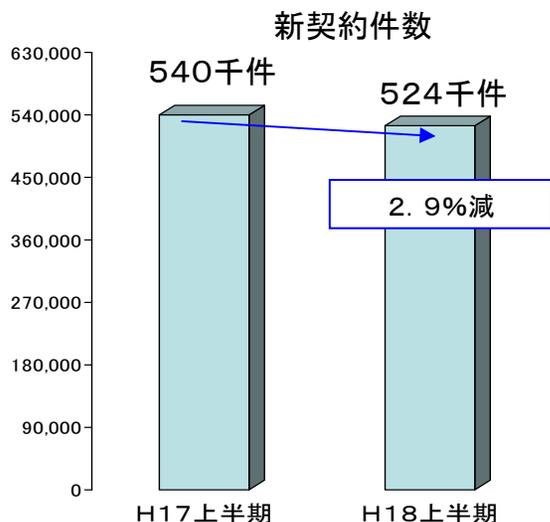
(2) 新契約

	平成18年度上半期		平成17年度上半期
		前年同期比	
年換算保険料(個人保険・個人年金保険)	457億円	△8.7%	500億円
うち第三分野	157億円	△11.8%	178億円
新契約件数(個人保険・個人年金保険)	524千件	△2.9%	540千件
<参考>個人年金保険件数	34千件	61.6%	21千件
新契約高(個人保険・個人年金保険)	26,683億円	△36.8%	42,199億円

2. 新契約業績のポイント

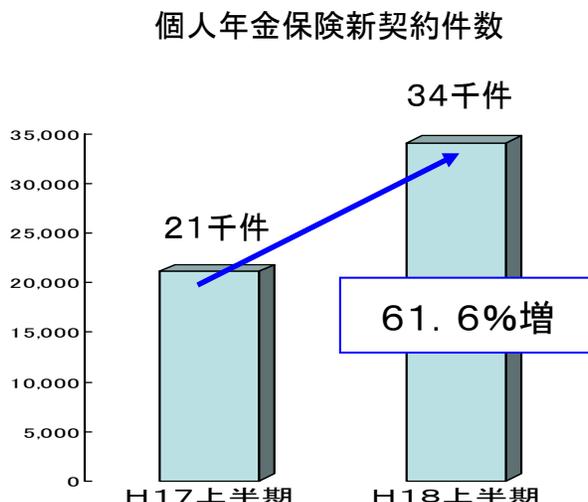
新契約件数

52万4千件
(前年同期比△2.9%)



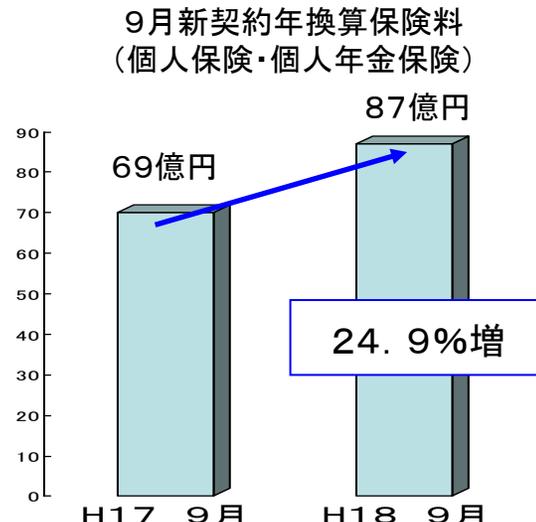
個人年金保険 新契約件数

3万4千件
(前年同期比61.6%増)



9月新契約年換算保険料

87億円
(前年同月比24.9%増)



9月新発売の「年金ひとすじ」は販売好調ですが、新契約件数は、新商品認可停止等の影響により、前年同期比2.9%減となりました

「年金ひとすじ」の新契約件数は発売月(9月)1ヶ月で約2万件！ご好評いただいています

9月の新契約年換算保険料が前年同月に比べ増加

3. 収支の状況

(1) 基礎利益

	平成18年度上半期	
		前年同期差
基礎利益	2,202億円	144億円
費差	716億円	△8億円
危険差	2,087億円	81億円
逆ざや	△601億円	70億円

**基礎利益は、合併効果、運用利回りの向上等により
前年同期差で144億円の増加。引き続き安定的な収益力を堅持**

(2) 保険料等収入・保険金等支払金

	平成18年度上半期		平成17年度上半期
		前年同期比	
保険料等収入	12,896億円	△6.2%	13,755億円
保険金等支払金	11,680億円	△17.1%	14,089億円
うち解約返戻金	2,593億円	△19.2%	3,210億円

4. 資産・財務の状況

(1) 健全性指標

	平成18年度上半期末		平成17年度末
		前年度末差	
ソルベンシー・マージン比率	1,218.2%	38.3 ^{ポイント}	1,179.9%
実質純資産額	48,638億円	△227億円	48,866億円
一般勘定資産に対する比率	19.1%	0.0%	19.1%
リスク管理債権額	344億円	△28億円	373億円
貸付残高に対する比率	0.52%	△0.02 ^{ポイント}	0.54%

(2) 含み損益

一般勘定資産全体の含み損益

	平成18年度上半期末		平成17年度末
		前年度末差	
一般勘定資産全体の含み損益	30,462億円	△219億円	30,682億円
うち有価証券(注1、2)	28,198億円	△338億円	28,537億円
うち土地(注3)	2,325億円	127億円	2,198億円

(注) 1. 時価のある有価証券に加え、時価のない有価証券（外貨建の子会社株式及び関連会社株式等）を為替評価した場合の含み損益相当額を記載

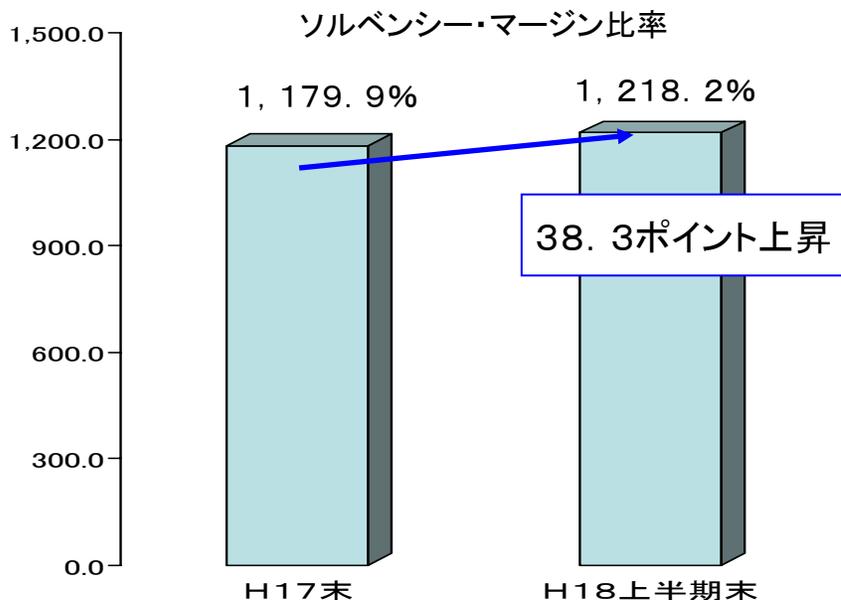
2. 買入金銭債権等を含む

3. 平成11年度末（明治生命）および平成12年度末（安田生命）に実施した土地の再評価による「再評価差額」を含む。また、借地権を含む

5. 健全性指標のポイント

ソルベンシー・マージン比率

危険準備金の積み増し(+742億円)と
資産運用リスクの減少(△100億円)で
前年度末比**38.3ポイント**上昇

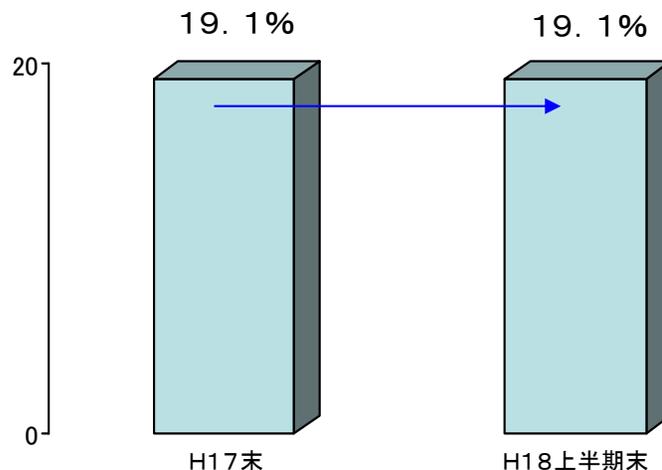


実質純資産額

実質純資産額
4兆8,638億円
一般勘定資産に対する比率は
19.1%

実質純資産額の一般勘定資産に対する比率

	平成17年度末	平成18年度上半期末
実質純資産額	48,866億円	48,638億円
一般勘定資産	256,111億円	254,895億円



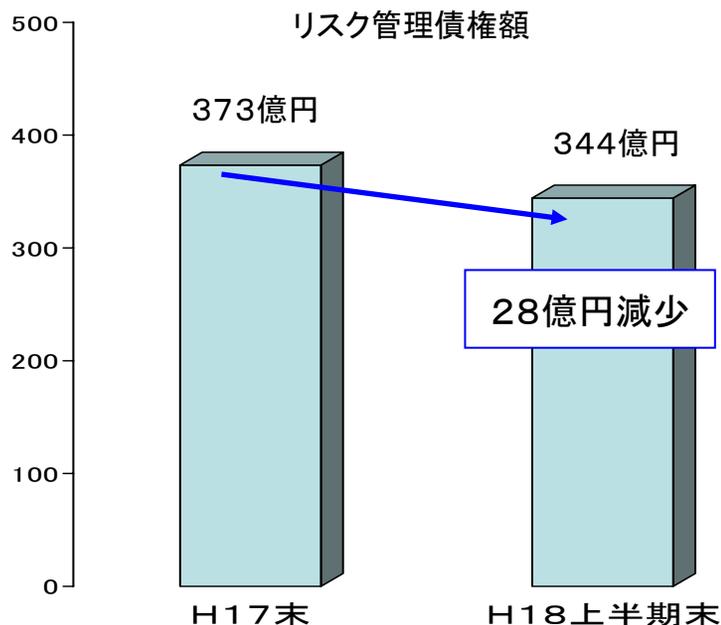
リスク管理債権額

おもに延滞債権の減少により
前年度差 **28億円減少**
貸付残高に対する比率は
0.52%と1%を切る低い水準

含み損益

3兆462億円(一般勘定資産全体)
うち有価証券**2兆8,198億円**

主要な資産において、含み益を確保
しています



主要な資産の含み損益

国内公社債
267億円

株式

2兆3,683億円

外国公社債
1,106億円

外国株式等
3,098億円

土地(注)
2,325億円

(注)土地には借地権を含めています。

国内株式含み損益ゼロ水準

国内株式含み損益ゼロ水準の推移

	平成18年度上半期末	平成17年度末
TOPIXベース	710 ^{ポイント程度}	710 ^{ポイント程度}
日経平均株価ベース	7,000円程度	7,000円程度

(注) 1. 株価指数と当社ポートフォリオの過去の連動性を用いて算出

2. 仮に当社ポートフォリオがTOPIXおよび日経平均株価にフル連動するとした場合は、TOPIX770ポイント程度、日経平均7,600円程度

6. クオリティ項目の概要

解約・失効の状況(個人保険・個人年金保険)

(1)解約・失効高、解約・失効率

	平成18年度上半期		平成17年度上半期
		前年同期比	
解約・失効高	55,497億円	△27.1%	76,157億円
解約・失効率	3.82%	△0.96 ^{ポイント}	4.78%

(2)解約・失効年換算保険料

	平成18年度上半期	<参考> 平成17年度
解約・失効年換算保険料 ^(注)	523億円	1,368億円

(注)解約・失効年換算保険料は平成18年度上半期より新規開示

7. クォリティ項目のポイント

解約・失効が 大幅に改善

<解約・失効高>

前年同期比△27.1%と大きく改善

<解約・失効率>

前年同期比△0.96ポイント改善

<総合継続率(注)>

4回目総合継続率96.6%

(前年同期比4.7ポイント改善)

- (注) 1. 総合継続率は、社内業績数値の契約高ベースにて算出しております。
2. 4回目総合継続率の対象契約は、平成17年11月～18年4月募集分がベースとなっております。

